

第2回北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会 議事概要

日 時 平成 27 年 6 月 29 日(月) 10 時 00 分～12 時 00 分

場 所 ホテルクラウンパレス小倉 2 階 香梅の間

出席者（構成団体）

利島 康司	（北九州商工会議所 会頭）
深町 宏子	（北九州商工会議所女性会 会長）
小森 敏弘	（（一社）北九州青年会議所 理事長）
村田 晋	（福岡経済同友会北九州地域委員会 委員長）
（代理出席）	
自見 榮祐	（（一社）北九州中小企業団体連合会 会長）
山崎 脛	（（公財）北九州活性化協議会 会長）
（代理出席）	
國武 豊喜	（（公財）北九州産業学術推進機構 理事長）
近藤 倫明	（公立大学法人北九州市立大学 学長）
松永 守央	（国立大学法人九州工業大学 学長）
佃 利之	（福岡県企画・地域振興部 部長）
（代理出席）	
吉戒 孝	（（一社）北九州銀行協会 会長（福岡銀行副頭取））
嶋津 祐一	（（株）日本政策投資銀行 九州支店長）
福島 昭一	（連合福岡北九州地域協議会 議長）
上田 早苗	（NHK北九州放送局 局長）
岸本 卓也	（（株）毎日新聞社 取締役西部本社代表）
戸町 武弘	（北九州市議会 議長）
倉光 信子	（北九州市女性団体連絡会議 会長）
（代理出席）	
陣内 朋子	（北九州市PTA協議会 副会長・母親委員長）

（敬称略）

1 開会

—市長挨拶—

2 議事

（1）北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略の案について

—「資料3」、「資料4」に基づいて事務局より説明—

(2) 討議

利島構成員

- K P I について、5年後ということが高い目標になっているが、5年後に向けて毎年の目標と方針を決めるべきだ。
- 地方がダメになると日本が潰れるという危機感を企業がもって、企業の方針を変更していかなければならない。
- C C R C について、企業内に地元出身で帰りたいが帰れない人がいるので、まずは、そこから実績を積み上げてはどうか。

深町構成員

- 北九州市をもっと宣伝・P R することで、まちの活性化につながると思うのでこの部分はしっかりと頑張っていたきたい。
- 観光客など人が動くことでまちににぎわいが生まれるので、そういった取組が大切だ。
- まず、誰もができることを考えた時に、貯蓄ではなく買い物などで消費喚起を促すことが経済の活性化にとって何よりも必要なのでは是非そうした部分もしっかりしてもらいたい。

小森構成員

- 北九州市は子育てするには本当にいいまちだと感じている。
- 人の大きな移動のタイミングとして、就学・就職に加えて、結婚のタイミングがあり、結婚して住む際には子育て環境などを意識するので、そういう人をターゲットにした分かりやすい資料があった方がいい。
- 総合戦略にも書いているが、小学校、中学校のうちから北九州市のよさを伝える教育が大切だ。

高宮構成員(村田氏 代理出席)

- 産学官金労言が目標を掲げて、自分のこととして考えることが重要である。
- 北九州空港をもっと活用するためにはアクセスの改善が必要である。
- 地元企業のよさをP Rするとともに、小学校や中学校の頃からものづくりに親しむ環境づくりが大切である。
- 自然災害に強いという特性を活かしたバックアップ機能の強化を行い、サイバーシティのビジネスセンターを創設してはどうか。

自見構成員

- 地方創生は、地方自治体が手を挙げるコンペのようなものなので、総合力勝負のところはわかるがもう少し内容を絞ってもいいのでは。
- 北九州空港がこの街の強い部分なので、もっと書き込んでもいい。福岡空港の話も踏まえるとこれから成長の可能性があるのは空港だ。喫緊のテーマは、福岡空港と北九州空港へのアクセス向上、空港の路線数を増やすことで空港のイメージを良くすることだ。
- 北九州の歴史等にもっと目を向けて、北九州のよさを知ってもらい、シビックプライドを醸成していつてもらいたい。

西村構成員(山崎氏 代理出席)

- 皆が当事者意識をもち、市民サイドからできることは積極的に実施することが重要だ。
- インターンシップやニッチトップ企業に関する部分は、我々（北九州活性化協議会）の計画と相関性が高いので連携を図っていきたい。
- C C R Cに関して、本市には企業のOB団体である北九州テクノサポートがあり、移住者の受け皿、中小企業の技術支援力の強化という面で協力できるのでは。

國武構成員

- 現在、産業構造が大きく変わっているものの北九州市の製造業の場合、設計等のデジタル化の分野で遅れている印象がある。
- 地方の中小企業を世界で戦えるようにする必要がある。

近藤構成員

- 北九州市のあり方の像を市民にわかりやすいようにキーワードにしてみてもどうか。
- C O C +（知の拠点づくり）を市内の10大学と関門の2大学と共に取り組んでいる。
- 総合戦略を進めていく中で、学生等の将来を見通せる人材を取り込んでいってはどうか。

松永構成員

- 行政なので難しいかもしれないが、ライバルを明確に意識する必要がある。
- 羽田空港が台北の日帰りできる便を設定しているが、同じことを北九州空港などで行ってみたいかどうか。
- 企業の本社機能を誘致する際、先端的な情報を扱える新しいオフィスビルが必要である。また、情報技術を活用した生産性を向上するムーブメントは行政が主導する必要がある。

家守構成員(佃氏 代理出席)

- 地域の特性が施策に反映された総合戦略となっている。
- 地方創生の基本は、地域の特性や強みに磨きをかけて活用することである。
- 北九州空港や世界遺産等、県との関わりで言えば、北九州の発展は県の発展にもつながるため、これからも様々な面で連携を強化していきたい。

吉戒構成員

- 北九州市の地方創生への取組は早い印象がある。また、総合戦略は、政令指定都市なので総花的になってしまうのではないか。
- 企業誘致に関しては、バックアップセンターやコールセンターだけでなく、事務系の仕事を増やす必要がある。
- 福岡市の大名や今泉が発展したのはキーパーソンがいて、行政が好きにやらせたからである。

嶋津構成員

- 北九州の課題がよくまとまっており、全体的に良くできた地方創生の総合戦略だ。
- スタジアムは、新幹線の駅から徒歩圏内にある日本一のスタジアムなので、イベント等の賑わい施策に取り込み、活用してはどうか。
- 観光客に宿泊してもらい文化や食などの良さをわかってもらうことも大切。

福島構成員

- 地元企業が地元の人をどのくらい採用しているかなどの状況を把握できれば、より具体的な施策を講じることができる。また、地元就職については、企業の採用計画との連携をとってほしい。
- スタジアムを積極的に活用する等、文化、スポーツの推進に取り組んでほしい。

上田構成員

- この短期間でしっかりとまとめあげており、感服している。
- 総合戦略は大切な施策が掲載されているのはわかるが、施策数が多いのでその中の優先順位が知りたい。
- 旧5市のポテンシャルをコーディネートする人がいて、それぞれの特性を補完して底上げすることができれば、北九州市の新たな魅力が発見できるのでは。

岸本構成員

- これからも様々な機会（フォーラムなど）を通じて、情報発進に努めていきたい。
- 北九州マラソンはインターネットで上位に選ばれるほどの人気だが、これからが大事で、3年目は2年目と同じことをしてしまうと形骸化してしまう。

戸町構成員

- 人口が増加している政令市は第三次産業が伸びている。定住人口は急には増えないが、交流人口はこれから増えてくるだろう。
- 北九州市は食ブランド、ファッション、ポップカルチャーの面が弱いと感じている。

松村構成員(倉光氏 代理出席)

- 子育てに男性が参加するようになってきたと感じており、これまで以上に女性活躍推進が進めばと思う。
- 空き家問題について、早く対策を具体化して、子育てに関するサロンなどと一緒にした空き家の活用を早急に進めてほしい。

陣内構成員

- 北九州市の小学生、中学生はのびのびと好きな活動をしているように感じる。学力調査の結果も大切だが、今あるものも大切にしてほしい。
- キャリア教育やシビックプライドの醸成といった子ども向けの内容も盛り込まれているので、総合戦略における今後の展開を期待している。

永井構成員(欠席のため言付かった意見を事務局が代読)

- 北九州市に来る人いわゆる観光客の増加がやはり北九州市のにぎわいの創出につながるなので、こうした人たちに対するアプローチが大切。例えば、東九州自動車道がもうすぐつながるので、大分県、山口県からの観光ルートをしっかり構築する必要がある。
- また、福岡市に比べても様々な食文化があるのでそういったところにもスポットを当てていく必要がある。

以上